

熱中症対策義務化に向けた取り組みと 健康経営推進企業であることを示す「健康白書」も発行

株式会社ファミリーマート（本社：東京都港区、代表取締役社長：細見研介）は、2019年から推進する健康経営の一環として、今年6月より施行された「職場での熱中症対策義務化」を受け、社員および加盟店の安全確保に向けた取り組みを強化しております。

あわせて、当社の健康増進への取り組みや社員の健康状態をまとめ、初の「健康白書」として発行したことをお知らせいたします。

■熱中症対策義務化を受け、全社一丸での取り組みを強化

今年の夏も全国的な猛暑が続く中、社員および加盟店のみなさまが安全に働ける環境を整備することは重要と考えます。ファミリーマートでは、本年6月からの熱中症対策義務化に基づき、以下の取り組みを通じて対策を徹底しております。

<主な取り組み>

- ①社内イントラネットや衛生委員会のメンバーによる、熱中症の注意喚起と対策を周知
- ②加盟店・店舗向けに具体的対策を案内
 - ・対策の具体的事例の紹介
 - ・店舗にて実施する項目リストを配信し、印刷掲示を推奨
 - ・熱中症への注意喚起動画を店舗サイネージにて毎年期間限定で配信
- ③当社内の健康管理室サイトを刷新し、産業医の啓発動画を配信
- ④社内に設置の給茶機に、こまめな水分補給について啓発 POP を掲示



①地区の衛生委員会の様子



③健康管理室サイト



④熱中症啓発 POP 掲示

また、猛暑対策や働き方改革と節電の一環として、7月16日（水）から9月15日（月）まで、就業時間を1時間前倒しする「ファミマサマータイム」を実施しております。

期間中は、涼しい朝の時間に出社し業務を始めることで、業務効率化と節電を推進いたします。

■初の「健康白書」を発行 データで振り返る6年間と今後の取り組み

今回の熱中症対策強化は、健康経営の取り組みの一環です。このたび、健康経営に関する活動と課題をまとめ、初の「健康白書」を発行いたしました。

健康を保持増進するためには、健康意識を向上し、自らが健康行動を取り続けていく必要があります。そのために健康診断の受診に加え、生活習慣改善セミナーや女性の健康とキャリアを知るセミナーなどの開催、ウォーキング活動の継続的な実施、メンタルヘルス対策では、システムを刷新しストレスチェックの結果通知と面談勧奨などを速やかに行うことで、メンタルヘルス不調の早期発見と予防につなげております。

また、本白書から、健康数値が改善する社員もいる一方、20代・30代の健康課題も見えてきました。今後はこの結果に基づき、予防と早期対策にもさらに力をいれ、健康経営を推進していきます。

* 健康白書はこちらからご覧になれます

https://www.family.co.jp/content/dam/family/sustainability/topics/2025/health_report2024.pdf



* ファミリーマートの健康経営について

https://www.family.co.jp/sustainability/material_issues/diversity/health.html#kenkokeiei

ファミリーマートは、「あなたと、コンビニ、ファミリーマート」のもと、地域に寄り添い、お客さま一人ひとりと家族のようにつながりながら、便利の先にある、なくてはならない場所を目指してまいります。

以上